



# Library News

～図書館だより～

## ご挨拶

情報メディア教育センター長 武田 充啓

こんにちは。本年度より情報メディア教育センター長を務めます一般教科所属教員の武田充啓です。どうぞよろしくお願いいたします。

情報メディア教育センターは、教育用電算機センターと図書館からなる学生の教育支援を目的とした組織です。以下、奈良高専の情報メディア教育センターの概要と活動内容について紹介します。

教育用電算機センターが運営しているのは、以下の3室です。

- 情報処理演習室（総合情報センター棟）
- マルチメディア演習室（本館北棟）
- LL教室（図書館棟）

それぞれインターネットの利用が可能なコンピュータが備わっており、これら3つの演習室を利用することで、同時に3クラスの情報処理演習が可能になります。

教育用電算機センター関係の主な活動内容は以下のとおりです。

- ① 新入生対象利用者講習会（オリエンテーション、メール・アカウントの取得など）
- ② インターネット・フィルタリングの運用
- ③ 演習室利用者のマナー向上啓発活動
- ④ 教員の情報処理研究集会参加支援
- ⑤ 学生のプログラミングコンテスト参加支援

また、後援会の援助により、LL教室では平日20時までの時間外利用（英語自習を目的としたもの）を認めています。

奈良高専の図書館には約10万冊の蔵書がありますが、高専図書館としては標準的です。自慢できるのは貸出冊数です。学生対象では年間15382冊（2014年度実績）、貸出総数は約20000冊で、これは沖縄、豊田に次いで高専図書館では全国第三位の成績（2013年度実績）です。

図書館関係の主な活動内容は、以下のとおりです。

- ① 新入生対象オリエンテーションの実施（利用案内）
- ② 文献情報検索講習会の実施（研究室単位）
- ③ 読書感想文コンクールの実施（国語科の協力を得ている、低学年中心、1月に表彰）
- ④ 読書週間活動（学生図書委員によるテーマ決定、

館内展示開催）

- ⑤ 多読表彰（クラス対象のものと個人対象のものがある、1月に表彰）
- ⑥ ブックハンティング（学生図書委員と教員が大阪の大型書店で選書・購入、年2回）
- ⑦ 図書館だよりの発行



- ⑧ 研究紀要や研究活動一覧の発行

また、図書館では平日20時まで、土曜日16時30分までの時間外利用を実施しており、保護者や学外者の利用が可能になっています。

さて、ソーシャル・メディアの急激な発達、モバイル・メディアの急速な普及に伴い、情報は洪水のように溢れ、それはもはや豊かさというよりむしろ言葉とコミュニケーションの観点からは、危機的な状況にあるとも考えられる昨今です。

「～はずし」「炎上」「リベンジ～」といったメディアを介した社会的な暴力も問題化していて、これらはもちろん高専生の日常にも密接にかかわっています。

情報の技術やメディアの発展に対して、メディア・リテラシー（情報メディアに意識的・主体的にかかわり、その真偽を見抜き、そこから必要・有益な情報を引き出し、活用する能力）を養うことが急務になっています。

リテラシーの向上には、まずは何より積極的にかわる、すなわち利用することです。皆さんもどしどし演習室を利用し、どんどん図書館を活用してください。そして自分のメディア・リテラシーを立派なものに鍛えあげていってください。

情報メディア教育センターに携わる私たち教職員は、これまでに努力いただいた先輩方のノウハウを引き継ぎ、少しでも皆さんの利用に資するような支援を心掛けていきたいと思っています。みんなで私たちの情報メディア教育センターを有効活用しましょう。

